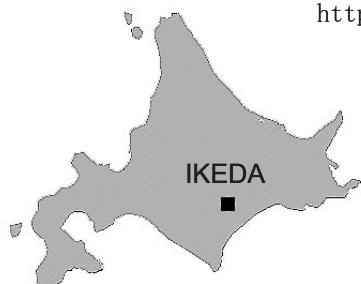


No.45 2010, Feb.

2 月・平成 22 年新年会号

<http://city.hokkai.or.jp/~mtamaki/kyokai>

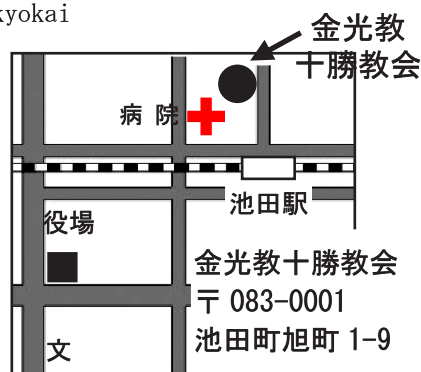


☎ 015-572-2322
fax 015-572-4213

十勝教会



だより 45



平成二十二年

十勝教会創立九十年を迎えて①

金光教十勝教会

平成二十二年

教会創立九十年記念大祭

十一月七日

平成二十二年、十勝教会創立九十年の新年を迎えました。

長期予報では「この冬は暖冬」ということで安心していましたが、ふたを開けてみれば連日マイナス二十度を下回る日が続き、近年では珍しく十勝らしい冬を迎えています。

とはいえ、十二年前に建て替えられた教会では、マイナス二〇度の日が続いても凍結を防ぐため水道の元栓を止める必要はなく、廊下にジュースやお酒を置いておいても凍ることもありません。それどころか、逆に野菜や果物などを保存するのに寒いところを探さなければならぬくらいです。以前の教会では考えられないほど快適な環境になりました。

昭和初期に建てられた旧教会の御広前では、真冬になると、ストーブをいくら燃やしても暖かいのはストーブの周囲一メートルぐらい、ご神前にお供えしていたお水やご飯が凍ってしまふなどは珍しいことではありませんでした。これは昭和五十年代以降の教会でのことです。初代先生や二代先生が布教されていた時代の冬の御広前はさらに厳しかたことが想像されます。たとえば、真冬の朝、御祈念している先生の羽織に霜が降りていたとか、御広前に泊まって朝起きてみると布団の襟が凍っていたなどの昔話は当時の真冬の教会の様子をよく物語っています。

なぜこのような土地に初代先生は布教されたのでしょうか。それは、このような北海道内陸の厳しい土地にも、人々の生活

があつたからです。そして、初代先生をはじめ、教会創立に奔走した人達の「この地で人を助ける」という信念があつたからにほかありません。

金光教の信心の特徴に「神が助かり氏子も立ちゆく」信心というものがあります。「神が助かる」信心とは天地金乃神様の願いである「氏子（人）の助かり」を我々ひとりひとりの人間が実践していくことです。これは、「人を助ける」ということがすなわち、天地金乃神様の願いである「氏子を助ける」ということを実践するからにほかありません。「人が助かる」、「人を助ける」、「人の助かりを願う」ということは、ひとりひとりの人間にとつては小さな働きかもしれません。しかし、そこには天地金乃神様の願いを叶えるという壮大な背景があるのです。

初代先生が教会をこの地に開いたということは、この地で神様の願いを叶えるお手伝いをする。つまりこの地で「人を助けることを実践する」という願いがあつてのことです。

その教会が今もここに続いているということは、初代先生の願いが二代先生をはじめ諸先生、そして信奉者たちに受け継がれ、この地で「人を助ける」場として働かなければならないと未だに訴えかけているからに他なりません。今、ここにいる我々は、初代先生をはじめ先人たちの教会に対する「願い」と「思い」をどのようににいただいているのでしょうか。教会創立九十年の節年に、あらためてひとりひとりが考えることができればと思います。

平成 22 年 2 月 11 日

教会日誌

11月22日 立教一五〇年生神金光大神大祭執行

平成21年11月22日から1月31日まで



祭典前の総代の挨拶とお届け（左）。祭主玉串奉奠（右）、参拝者代表玉串（下段）



吉備舞奉納（左）。祭典後、網走教会長菊川先生による立教神伝の奉読と立教についてのお話を聞き、立教 150 年記念アニメ「金光さま」を鑑賞しました（左）。



佐々木さんから団体参拝に参加しての体験発表がありました（右）。千鶴子先生の挨拶（右）。



写真 - 越年感謝祭 -

12
月
31
日

越年感謝祭執行

12
月
18
日

本別町、I 家、百日祭

12
月
13
日

本部布教功労者報徳祭・金光山神大道
別命九十年祭、衛先生参拝

12
月
5
日

薫別講社、立教一五〇年生神金光大神
大祭執行

11
月
24
日

釧路市、S 家旬日祭・合祀祭・納骨祭

1
月
4
日

帯広市、M 家・K 家、感謝祭

1
月
3
日

池田町、M 家、感謝祭

1
月
3
日

士幌町、K 家、T 家感謝祭

1
月
1
日

元日祭執行



写真 - 大晦日の教会 -

12 月 31 日、朝方まで雪が降り続き、近年には珍しく大雪の大晦日となりました。

この冬は最低気温がマイナス 20 度を越える日も多いのですが、雪の量も多く、教会では 2 年ぶりに屋根の雪下ろしを行いました。

1月5日 薫別講社、年頭祭執行

1月13日 函館教会、前教会長一年祭、教会長祭
主奉仕

1月17日 札幌市、Y家感謝祭

1月22日 札幌市、T家、系列各社合同感謝祭

写真・薫別講社年頭祭、

薫別講社は、陸別町と足寄町の境の山間部にありますが、この冬はマイナス三十度を超える日が続いています。



写真 - 元日祭 - 参拝された方々にはお屠蘇が振る舞われました（運転手さんには御神水）

金光教十勝教会平成 22 年祭典行事日程

祭 典 日

★春季 霊 祭	3 月 21 日 (日・春分の日)	午後 1 時 30 分
★勸 学 祭	4 月 1 日 (木)	午後 1 時 30 分
●天地金乃神大祭	4 月 18 日 (日)	午前 11 時
★上半期感謝祭	6 月 27 日 (日)	午後 1 時 30 分
★布教功労者報徳祭	8 月 16 日 (月)	午後 1 時 30 分
★秋 季 霊 祭	9 月 23 日 (木・秋分の日)	午後 1 時 30 分
★越年感謝祭	12 月 31 日 (金)	午後 1 時 30 分
●十勝教会創立 90 年記念大祭	11 月 7 日 (日)	

月 例 祭 日

▼生神金光大神月例祭	毎月 1 日	午後 1 時 30 分
▼月 例 霊 祭	毎月 10 日	午後 1 時 30 分
▼天地金乃神月例祭	毎月 21 日	午後 1 時 30 分
(祭典後「金光大神」音読会)		

薫別講社・祭典日・月例祭日

★天地金乃神大祭	4 月 5 日 (月)	午前 11 時
★生神金光大神大祭	12 月 5 日 (日)	午前 11 時
▼月 例 祭	毎月 5 日	午前 11 時

信徒会その他の行事

◆春・大祭前大掃除	4 月 11 日 (日)	午前 10 時
◆境 内 清 掃	6 月 6 日 (日)	午前 10 時
◆社会奉仕の日 (ゴミ拾いと境内清掃)	7 月 18 日 (日)	午前 10 時
◆秋・大祭前大掃除	10 月 31 日 (日)	午前 10 時
★創立 90 年記念大祭奉迎委員会	都度	

行事日程は変更になる場合があります。その都度開催案内を出しますのでそちらをご覧ください。インターネットのホームページでもお知らせします。